

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2422回 例会

平成23年11月4日(金)
天候 曇り
合唱 君が代、我等の生業
四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25
中川方 TEL/FAX 0465(62)3056
例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721
ニューウェルシティ湯河原
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

常盤章夫副会

今年も残り少なくなりました。秋も深まってまいりましたが、例年になく暖冬の陽気が続いております。

さて、東北地方の震災、大津波、福島原発事故、9月には、関西、東海地方を襲いました台風12号による大雨災害、2,3日前には奄美大島の記録的な大雨による災害と続いております。

世界に目を向けてみますと、トルコで発生した大地震、タイの大洪水と大きな災害といった具合で、地球は今、どうなっているのでしょうか。天災は忘れた頃にやってくると言われます。

我々は日頃から防災の意識を強く持って対処できるよう心がけていきたいと思うしだいで

す。

幹事報告

ガバナー

- 「新会員の集い」にむけてのアンケートのお願い
回答者
会長、幹事、R情報委員長、新会員
(H23年1/1以降入会者全員)
- 地区大会選挙人会 賛否投票結果の報告
2013年R I 規定審議会提出立法案
賛否投票結果
- 社会奉仕活動についてのアンケート
11/30 〆切

本日のゲスト

米山奨学生 斯 琴 様

スマイルBOX

稲葉 隆 君 会員誕生日 11/6
石倉幸久 君 会員誕生日 11/7
西山 敦 君 婦人誕生日 徳子様 11/3
全員 11月初回例会

皆様風邪をひかぬように

出席報告	ゲスト 1名 ビジター 0名		
	会員 26名	欠席 6(2)名	出席率 83.33%
	前回の修正出席率 96.00%		前々回の修正出席率 96.00%

石倉幸久幸君

湯河原町は、四季を通じて温暖な気候に恵まれ、温泉、文化、史跡、産業、景観や海、山、川などの自然環境といったかけがえのない貴重な地域資源があります。

また、多くの文人墨客に愛され、温泉観光地として発展し、これからも地域資源を活用した町の活性化を図ることが大切なこと考えています。

本年3月には、まちづくりの指針として、町民の皆様の参画・協働のもと、平成23年度から32年度までを計画期間とし、まちの将来像を「湯けむりと笑顔あふれる四季彩のまち湯河原」とする湯河原町新総合計画「ゆがわら2011プラン」が策定されました。

この「ゆがわら2011プラン」では、まちの重要な玄関口である駅前周辺について、温泉観光地にふさわしい湯けむりの感じられる空間整備を地域や企業と協力して計画的に進めることになっており、現在、「駅前整備を推進する会」によって駅前整備計画の検討を行っております。

新たな駅前広場は、「観光客も住民も気軽にくつろげるまちの縁側」、「木のぬくもりと湯けむりを感じる暖かな広場」、「四季の彩りを感じる癒しの空間」をコンセプトに、活気のある新しい玄関口として、これからの湯河原を象徴する魅力的な都市施設を創出し、機能面はもとより景観、デザイン面での魅力づくりの充実が必要であると考えております。

ゆとりとのおいのある歩行空間を創出し、訪れた人々に対するもてなしの空間へ、また同時に、駅改札口から周辺街路へとつながる歩行者空間やユニバーサルデザインへの配慮を図るものです。

これらの具現化にあたり、駅前広場にイベント広場の設置、老朽化したアーケードの改修、また、湯けむりの感じられる空間として「足湯等」の設置を検討しており、湯けむりは湯のまち湯河原を象徴し、来訪者に温泉を直接的に想起させ、地域住民と来訪者の交流の場、情報発信の場となると考えております。

続きまして温泉について話をいたします。

入る前には、たっぷりかけ湯をします。

これは二つの意味があります。

充分にかけ湯をすることによって、身体を温泉湯にならし、入浴による温熱刺激で生じる血圧の急上昇をおさえます。

もう一つは、身体の汚れを良く落としてから湯船に入ってください。かけ湯は、足元から順に上のほうをかけてお尻腰を充分に洗って入りましょう。

通常42度ほどの温度なのですが、何度も入ったり、長湯をしすぎると、のぼせたり、湯疲れもしますので注意しましょう。

宿について、身体を少し休め、夕食前、夕食後、朝食前の3回が限度です。飲食後は避けてください。

ヨーロッパの温泉保養地では、源泉入浴後、全身をバスローブで包み、休憩を取ります。湯冷めを防ぎ、血圧も低下していることと、温泉成分がじっくり皮膚から浸透するのを即すためです。

また、入浴すると発汗がそくされ、血液の粘度も上昇しますので、しっかり水分を補給してください。

温泉は、「温泉法」という法律に定められています。

温泉法が温泉と認める条件は、温度と物質の二種類あり、どちらかの条件を一つでも満たしていれば温泉と認められます。

第一の条件は、地上に湧き出た温泉が「摂氏25度以上」であれば認められ、第二の条件は、19種類の物質について、温浅水(1kg)にそれぞれ定めた総量以上どれか一つ以上含まれていけば良いのです。

このような条件をクリアした温泉の中でも泉質名がつくのは、温度条件は変わりませんが、物質条件でハードルが高く、「特に治療の目的に供し得るもの」として定義した療養泉のみです。

こうした療養泉に含まれる化学成分に基づいて分類され、それぞれの泉質名がつけられるのです。

そのため、温泉ならばすべて泉質名がつくわけではないのです。

湯河原温泉には、109本(2008年)の源泉があり、すべて泉質名のつく療養泉です。

湯河原温泉は、全国の中でも優良な温泉だということがわかります。

湧出量も豊富で温泉の特色や効能を良く味わえます。

最高80度以上ある高温線に恵まれています。源泉が集中する温泉が地区周辺には、湯けむり上る温泉井やぐらが見られます。温泉力みなぎる湯河原の湯の良さを再確認し見てください。